（大正十年十二月十二日第三種郵便物認可）　昭和十五年四月六日　土曜日　第五千七百八十八號　（一）

夕刊

四月五日發行

剣と詩精神

加藤愛夫氏進軍を讀む

上田冷人

砲煙、彈雨の血腥き山野を驅馳すること五萬餘粁、神ならで一瞬の命を知らぬ現實に喰下り、息も絶えて突進よくも世界にその名を轟かしめし、我快速部隊（戰狀報隊）今功なり名とげその部隊、晴れの歸還をなした。その隊員たる加藤氏をまのあたり迎ふるにあたり熱涙滂として吾を忘れ、「大運河」の「徐州入城」の詩篇に詩ひつくした戰爭が現實に喰下り、息も絶えて突進よくも世界にその名を轟かしめし、我快速部隊（戰狀報隊）今功なり名とげその部隊、晴れの歸還をなした。その隊員たる加藤氏をまのあたり迎ふるにあたり熱涙滂として吾を忘れ、

興へた文學のモラルこそ想をひつかき精神をよび、力をふるつて立つ偉大なる爭は偉大なる詩」と絶叫しかなる我々が絶なくして、涙なくして叫び得よか。「戰

[illegible]氏の魂[illegible]

[illegible]

[illegible]

時艱の深刻性再確認

自肅自戒の國策に順應すべく

七日市郷軍聯合大會

帝國在郷軍人會平市聯合分會の、明後七日の日曜を卜し午前九時から平商業學校に於て聯合分會大會を開き宮城遥拜、默禱、感謝、勅諭奉讀及詔書奉讀、總裁宮令旨奉讀、陸海軍大臣訓示會長同、聯合支部長の決意朗讀、宣言決議、閲兵分列、會歌齊唱、萬歲三唱を以て閉會後松ヶ岡の忠魂碑を參拜、銃後郷軍の士氣を振作して散會すると

下山田角夫(三の四)櫻庭章幸、薗部英雄(四の一)櫻庭昭欣、堀江將二郎(四の二)山野邊政榮、石黒照憲(四の三)金澤享、渡邊貢(四の四)柳澤信、山内和夫(五の一)松野尾宣之、平澤直人(五の二)大井川準之助、橋本真一(五の三)鈴木昭、佐藤喜芳(六の一)柴田章夫、鈴木基司(六の二)薗部成久、岡田一之(六の三)吉成勝保、金田秀夫(六の四)本田昭八郎、小林昌一(高一の一)四家金松、今野敏雄(一の二)門馬久夫、渡邊進(一の三)林富昭、志賀照明(一の四)小松崎明之、鈴木茂一(高二の一)栗田幸一、佐藤廣美(二の二)根川文雄、友部自修(二の三)吉田直喜、中村敬勝

千葉前校長　十日頃出發　小學校

長から天津青年學校長に轉任した千葉右近氏は、過般奉敷次の上京によつて外務省關係筋との打合せを了し大体來る十日頃出發赴任するものと觀られてゐる

小名濱の裝ひ

資材と勞力不足を克服し

只管完成を急ぐ

港都小名濱の形態を整備したが現在千三百口の給水申る最先の工事とも云ふべきし込み中三百を完成し之亦小名川橋より中町と西町境に亞る本町通りの鋪裝工事に資材並に勞力の不足から兎角工事の進捗を阻まれ作らも過般來清水屋前十字路より西漸して昨今中町地内に延長全工區の半ばを完成しだ一方、之と呼應する上水道も既に本町通りを縱貫する幹線埋管の本工事を了り目下その支線布設に入つ

港都小名濱の形態を整備したが現在千三百口の給水申る最先の工事とも云ふべきし込み中三百を完成し之亦小名川橋より中町と西町境に亞る本町通りの鋪裝工事に資材並に勞力の不足から進捗思はしくない作ら着々最兎角工事の進捗を阻まれ作ら後の段階に歩を進めつつあ

。。。。。。。。。。

金澤氏片倉へ　今回の異動で鹿島校長を勇退した金澤邦男氏は近く市内片倉磐城製糸青年學校長に就任す

若ひなの巣離れに

感激的情景を點描

けさ年少就職者送出

遠近各方面からの求人殺到に關して懇切説示の上夫々に對し、應報の如き希望者目的地に送出したが、幼くの待り出し乃至小學卒業生の斡旋等、昨今の人手不足に處して勞務資源の調整に最大の努力を續けてゐる中職業紹介所では、此程小名濱日水工場の約二十名をはじめ某々方面合計男女若干名が郷つたので、今五日朝市役所前廣場に關係者一同を集め立澤所長から銃後産業の重要性から之に從ふものの心構え、健康、修養方面の注意事項その他、

第一校級長

昨四日任命式

平第一小學校では昨四日今第一學期の級長を左記の通り任命した

(第三の一)志賀昭美、菊地淳(三の二)岡野和夫、堀仁二(三の三)高橋俊一

所謂功成り名遂げ

勇退した磐中三教諭

勤續合計八十有餘年

山崎教頭　山崎宣吉教諭も母校磐中其他に在る畢葛裘茲に三十餘當時白面の少壯教育家も今や髮髮皤皤の白を植ゑて、餘生を專攻の探索に沒頭すべくこの新學期を機會に殆ど全生涯を傾りた長い教壇生活から退いた。

憶へば明治三十五年磐中第二回卒業生として同窓三十九名と共に揚土の學園を巣立ち、國學院卒業後母校に教鞭を執つた氏は初代植竹、二代西村の校長に仕へ三代桐谷時代に出て、大阪天王寺、盛岡、仙台一中等の教諭に歷任、第四代滑川校長時代に安積高女校長に轉出

した松本午次郎教頭の後を承けて磐中に返り咲き爾來唐土、橋本、小檜山校長時代を經て現淺水校長に至る迄、細心懇切なる教頭として黒襟の良き女房振りを發揮した温良恭儉の典型的教育家で、在職前後三十有三年、教諭としては磐中に於ける永年勤續者の最高記錄保持者である

廣田教諭　同じ勇退者の廣田德行教諭は之亦磐中第三回卒業生(明治三十六年)で國學院出身。縣立以前に在つた磐城製糸青年學校に居た事あり

以上三泰待教諭の勤續年數合計實に八十年餘。今や駘蕩の風に櫻芽ぐむ高月學園を去るに臨んで三氏の胸中は感慨無きを得ず

山崎教諭　磐中第四回卒業(明治三十七年)で國學院出身。中斷あるも實際勤續二十年餘。國漢を擔任して生徒の信頼を集めて居た

るも他は殆ど磐中で地歷を擔任女學校の初任以來實に二十有八年三ヶ月、前記山崎教頭に次ぐ永年勤續者とし其の功蓋し沒すべからざるものがある

山崎教諭　磐中第四回卒業(明治三十七年)で國學院出身。中斷あるも實際勤續二十年餘。國漢を擔任して生徒の信頼を集めて居た

新鋭五教諭補充

尚ほ二三任命ある模樣

縣局下のお花見お膳立は大きく新緑の第一公園を彩る体昨報の如くどく消極的なものだが、市の緊縮豫算としては投光器十五個をはじめ裸電氣百余の施設は少かならざる犠牲を拂つたものでこゝに時局下ながら東北に冠たる松ヶ岡の花を飾る心遣りがひそんでゐるが節電の叫ばれてゐる折柄櫻が過

蹶躅の電氣は望み薄

節電に祟られた公園施設

縣聯合會の下相談

縣理事組合濱三郎京部會總會は今五日午前十一時から市内マルトモホールに開き支部長、代議員など出席三十余名、來月中ば浪江町に開かれる縣聯合會への提出議案其他これに關して種々協議、永年方部長をつとめて東部會に盡力した植田町相良皆吉氏を表彰した

お披露目　何も今

納まつたのではない『仲家』から、その名も春めいた『みどり』が出現、御喬闘の疲れを癒す緑地帶として大にサーヴキス致すとのこと

往復一週日を要し

此の紙と封筒を求む

湯本町出身　比佐國永大尉(信通)

謹啓、春暖途中各戰場に先霊の偉勳を拶申上候。

當地は著任時より結氷を惟びつゝ十七日任地に到著致し新任務に精勵致し居り候間他事乍ら御放念被下度吉々と菜の花咲き柳の芽ゑ出發に際して御懇情を賜り度御願申上候、早申候。尚將來共相變らず御懇吉く内地の摘草季節に有之候。二月二十九日三月一日を費し漸日なく延引致し候。先は御知らせ旁々御挨拶申上候。

二日乘船海陸共に恙無く上候。

陣中を聽く

(738)

謹啓、春暖途中各戰場に先霊の偉勳を拶申上候。

當地は著任時より結氷を惟びつゝ十七日任地に到著致し新任務に精勵致し居り候間他事乍ら御放念被下度吉々と菜の花咲き柳の芽ゑ出發に際して御懇情を賜り度御願申上候、早申候。尚將來共相變らず御懇吉く内地の摘草季節に有之候。二月二十九日三月一日を費し漸日なく延引致し候。先は御知らせ旁々御挨拶申上候。

二日乘船海陸共に恙無く上候。

元氣で活躍

市内上町出身　鈴木仙次君

拝啓、寒氣厳しき折柄御尊家皆々様には御壮健の由至りに御座候。尚將來共相變らず御懇吉く内地の摘草季節に有之候。

昭和十五年三月上旬

新聞社に居直り強盜

今曉女を傷け逃走す

今曉一時頃好間村北好間字樋現室一一四無職齊藤イキさん(五四)方の雨戸をこじあけて侵入した賊が電氣を消して奥座敷に四男の傳作君(九)と就寝中のイキさんをゆり起し『金を貸せ』と迫つたが拒絶され、二、三押問答の末居直つて突然所持の兇器をふるつてイキさんの左耳上を殴りつけたが氣丈な同女はひるまず『火事だ～』と騒ぎ出したので賊は一物を得ずして闇の戸外に姿を消した騒ぎに傳作君も起き出し近隣の人達がかけつけて被害者には内郷村島田醫師の應急手當を施す一方平署へ急報、同署では時を移さず全署員を非常召集し犯人の遺棄したものと思しき帽子と眼鏡を唯一の手がかりに鋭意捜査中だが未だ犯人は逮捕されない

イキさんの傷は裂傷で意識やゝ不明だが、餘病をさゝぬ限り三週間位であらうと、暗闇のため犯人の人相着衣や兇器など判らずそれに居出が多少遅れたので捜査に困難を來してゐるやうである、なほイキさん母子は出稼ぎ中の息子との仕送りで暮してゐる

けふ理髮東部會

縣聯合會の下相談

縣理髮組合濱三郎京部會總會は今五日午前十一時から市内マルトモホールに開き支部長、代議員など出席三十余名、來月中ば浪江町に開かれる縣聯合會への提出議案其他これに關して種々協議、永年方部長をつとめて東部會に盡力した植田町相良皆吉氏を表彰した

拈華微笑

磐中に不滅の金字塔。勇退三教諭の勤續合計實に八十有餘年

□

奇い努力の集積に敬わ子四千有餘の師が自づと下らう

□

銃後の老幼を脅かす不逞漢、その罪磔刑に値せざらんや

□

科學の殿堂日水に呼應して上水道、鋪裝の完成陸離たる小名濱の港都整備

□

今年も日記にしるす入あらん『けふ花曇り』

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士　江尻伊三郎
入院隨意

「貯蓄は無盡で」
三行圓
一歩一歩で楽の山
社交が淋しくならぬうち
無盡ひけましよう今のうち
磐城無盡

▲一白　萬事軽快に進捗發展する日迷心はつゝしむこと▲二黒　くび過ひを生じて苦勞を増す事あり安動は因▲三碧　幸運廻り來りて業績は次第に良好となる日▲四緑　大利を獲んとするは自ら根底なくつかへすが如し▲五黄　福運はとなりまで來て逃げ去る如き辛抱大切▲六白　足並みだれて敗走するが如し協力一致が大切▲七赤　安全な去り無理の願ひも起さぬが安全なり▲八白　一擧に望みを賞かんとすれば半途につまつきあり▲九紫　業務良好萬事進んで吉病難盜難怪我に注意

天氣豫報
小名濱側觀所觀側
今晩　東の風曇時々雨
明日　北西から南西の風晴後曇

送作山紫山君之滿洲
珠雲、小野　蕉平

百萬貔貅似蒼鵬
滿蘇絶徼任鷹揚
知君腹底情兼熱
善使皇軍意氣增

六日
(大安)(佛滅)(赤口)
滿潮(前三、三〇)(午後九、五五)
干潮(午後三、四五)(午後一〇、〇〇)
新暦四月二十九日　土曜日
赤口　己卯　閉
月六日　女宿

(安積中)長尾　武男
數學
(日本中)丹野　環
物理、化學
(物理學校卒)樫村好孝
物理、化學
(羽咋高女)本田尚文
國語、漢文

板硝子及食器類各種
裝飾用硝子格安販賣
平市一丁目
薄ガラス店

開業廣告
洋服ドライクリーニング
帽子洗張シミヌキ染色
ミカドクリーニング店
元東京大妻技藝學校講師
永山五郎
平市紺屋町塩屋本店向側
電話(呼出三七四)

ドッロ万年筆
電話二三三番
平市公園前
佐々木商店角忠

平病院(平市元共濟病院跡)(電話六四一番)
院主　醫學博士　鈴木定藏
院長
内科　副院長　鈴木定藏
小児科　副院長
外科　高橋俊幸
一般外科
皮膚泌尿器科
レントゲン科　院長　鈴木定藏
物理的療法科
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス(急患ハ此ノ限リニアラズ)

吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番

中等學校制服……大特賣
高
合崎屋の洋服
男女學生服
新入荷
並ニ注文ニ品製
高島屋
平市二丁目
電話三八六番